

発電用に供する木質バイオマスの証明された木材・木製品の取扱実績取りまとめ

(令和5年7月13日現在)

令和4年4月1日～令和 5年3月31日

令和 3年度	素材生産業者・原木市場・製材業者の方 出荷量							チップ製造業者・製材業者でチップ販売の方 チップ出荷量									
	伐採量または入荷量(m³)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	発電用チップ加工向け(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	発電以外(m³)	原材料入荷量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	発電所向け(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	その他向け(トン)	原材料在庫量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材
88社中86社分	233,418	66,802	93,402	29,398	27,205	2,043	79,144	226,776	116,739	98,671	160,131	116,270	43,862	59,041	20,722	14,926	5,362

コメント	<p>報告書の提出は86社となり昨年より4社増加し、報告率も向上しています。</p> <p>素材の入荷（伐採）量は昨年度と比較して、未利用材が134%と増加したものの、一般材は77%と減少し伐採量の合計では233千m3（対前年比85%）と減少。</p> <p>また、発電用チップ加工向けの出荷量は29千m3で対前年70%と大きく減少しています。未利用材については27千m3で対前年度比113%と増加したものの、一般材が大きく減少するとともに、発電以外でも約10千m3の減少となったことが原因と推測されます。</p> <p>なお、県内には当会以外の団体に認定を受けた事業者（森林組合など）があり、その数字はここに反映されていません。</p> <p>また、この数字は入荷量、出荷量とも素材生産業者と市場や製材のダブル計上が多く存在します。</p>	<p>原材料入荷量は対前年度比138%と大きく増加となりました。</p> <p>ただし、原材料入荷量は当会の認定でない者（全チ連や県森連のように他の認定団体の認定者）からの入荷もあり、入荷量の増減は明確ではありません。</p> <p>対前年度比では、原材料入荷量227千m3(対前年度比138%)と大きく増加し、発電所向けチップ出荷量も160千m3(対前年度比174%)で大きく増加しています、また、県内の発電用チップ需要量の内、県内のチップ業者から供給された量も160千トン（対前年度比174%）と大きく増加しています。しかし、原木は多くを他県から入れている状況に変わりはありません。</p>
------	---	---

※昨年度末時点で原材料、出荷品の在庫があり、今年度末にも在庫があるため、入荷＝出荷とはならない。

※小数点以下を四捨五入しているため、一致しない部分がある。